カウンセリングNo.2

26歳　高校卒　一般事務

高校の進路指導のままに就職し、毎日何となく一般事務の仕事を続けてもう8年目。周囲の同級生や同期生たちは8割が結婚し子供もいます。自分も25歳までには結婚するつもりでしたが、チャンスもなく、今も予定はありません。いっそのこと仕事に生きてみようと考えるのですが、資格もなければ人に言えるような経験もない状態。やってきたのはコピー取りと伝票整理、それに電話応対のつまらない仕事だけです。だから自分が何に向いているのかわからないし、何がやりたいのか聞かれても答えることができません。でもこのままじゃダメな気がして…。

寺田先生のお言葉

まだ26歳。心構えひとつで向上できるはず。

かなりマンネリ化が進んでいますね。そうなるにはきっと原因があるはず。でも事務の仕事は本当につまらない仕事ですか？企業にとっては事務も大事なポジション。要はあなたの心構え次第。それによってレベルアップは可能なのです。資格がなくてもいいではありませんか。かえって無い方がチャレンジしやすいかも、生きることに甘ったれないで、世間の厳しさを知ることも必要なのでは？

フェミストカウンセリングのお言葉

受け身ではなく、主体的な人生を選んで。

あなたの主体性はいったいどこにあるのでしょう。きっとあなたは過去も現在も、自分で選ぶことなく過ごしてきたのではないでしょうか。だから8年の経験がつまらないと思えてしまうのです。これからは受け身ではなく、主体的に選び取る人生にしてみませんか？1つ1つの経験が生きるためには、自分の意志で行動を起こすことが大切です。なんとなく流された8年を挽回してください。

編集部からちょっとコメント

たぶん、皆さんのなかで一番多い悩みではないでしょうか。26歳は気持ちも立場も宙ぶらりんなのかもしれません。でも、結婚と仕事は別ものですから、結婚できないから仕事を選ぶというのもおかしな話だと思います。森先生もおっしゃっていましたが、仕事がうまくいけば恋愛もうまくいく、そういうものです。

森先生のお言葉

先を急がないこと。結婚を望むならお見合いで。

たぶんあなたは生真面目な父親のもとに育ったのではないでしょうか。それだけに柔軟性にはやや欠けるものの、マイペースで根気がよく、何事も長続きさせる人だと思います。ですから転職も結論を急ぐことなく、少し刺激のある職種や地域の仕事を選んで才能を発掘してはどうでしょう。結婚も適齢期というだけで急がないで。それでも望むなら、平凡な主婦になるのを覚悟してお見合いを。

竹村先生のお言葉

未経験を経験に変えれば、何らかの発見がある。

人間はいくつになっても、自分のやりたいことがわからないもの、かの孔子でさえ50歳にして天命を知ったほどですから！したがってこれまで挑戦したことのない仕事を片っ端から経験してみては？そのうちに何かを発見し、そこから出発があると思います。ただ、電話応対の仕事は会社のイメージを左右する重要なポジション。それをつまらないと考える、あなたの方がよっぽどつまらない！

カウンセリングNo.3

22歳　高校卒　一般事務

昔からファッションに興味があり、その関連に進みたかったのですが思うような求人がありませんでした。それで大手の企業に就職したら事務職に配属されることに。でも、どうも上司とウマが合わず転職したいと考えています。「とらばーゆ」のアンケートで「やってみたい仕事は？」と聞かれて「ファッションデザイナー」とは答えたいけど、それはあくまでも憧れというか夢。実際に転職を探すときの条件は、休日が多くて給料のいい大手です。とはいってもなかなか採用されません。決まらないままにもう半年。早く転職したいのですが…。

寺田先生のお言葉

人間関係による転職は、どこにいっても同じ。

会社で働くということは、労働や能力を提供して給与という報酬をもらうこと。ですから仕事には責任がついてまわり、辛いこともたくさんあります。ファッション関係に進みたいと思うのなら、まず余暇を利用して勉強し、センスを磨くことから始めましょう。人間関係という好き嫌いの延長で転職すると、必ず同じ事を繰り返します。これは試練ですから我慢してみることも必要なのでは？

フェミストカウンセリングのお言葉

意欲や姿勢を明確にすることが先決なのでは。

上司とウマが合わないという理由だけで転職したいと考えるあなた。しかも希望の会社は休みが多くて給料がよくなくては…と選んでいるあなたからは、本当にやりたいこと、どう生きたいかという姿勢が見えてきません。ただ表面的なものに流されて、自分を理解できていないのではないでしょうか。長い人生において、あなたは何をしたいと思っていますか？一つひとつ丁寧に考えてみてください。

編集部からちょっとコメント

この女性の場合ファッションは憧れと断言しているので、それは趣味の範囲にとどめておいた方がいいと思います。よく「2番目に好きなことを仕事にしろ」と言いますが、これは、そうしないと辛さを知って嫌いになっちゃうよ、ということ。それほど仕事はシビアです。とにかくOLしてればいいや、と思わないで。

森先生のお言葉

苦労や面倒なことを回避するばかりではダメ。

あなたは快活でワガママな性格であるけれど、どこか寂しい思いを抱いて育ったと考えられます。周囲に対して劣等感があると同時に、少女的なファンタジーを持ち、理想や憧れに対して一途になる根性がありません。どちらかというと外見を気にするタイプですから、面倒なことには関わらない「安易な人間」と言えそう。少しは苦労も覚えないと、転職しても同じ失敗を繰り返すでしょう。

竹村先生のお言葉

いまの考えでは、とても運気は向上しません！

甘い！この一言に尽きます。今のままでは、きっとどこの会社も採用してくれないでしょう。どこに行っても一緒。上司とはウマが合わないと思います。なにしろ会社は「遊び場」じゃないんですから。それに、だいたいファッションデザイナーというのは勉強に次ぐ勉強が必要で、一流になるまでは大変なことも多いと思います。現実を把握しないと、一生プータローで終わってしまいますよ。